



王子台

ホームページ <http://www.school.city.sakura.chiba.jp/ojidai-es/>

令和4年9月1日

学校だより 9月号

佐倉市立王子台小学校

TEL : 043 (487) 1376

FAX : 043 (462) 4889



地域を愛する心の育成 ～東北の悲願「白河の関越え」から～

連日のように熱中症警戒アラートが発表され、猛暑に見舞われた夏休みでしたが、今日から子供たちの笑顔が学校に戻ってきました。子供たちの元気な声に戻ってくると、寂しそうな校舎が息を吹き返したように感じます。やはり、学校の中心は子供たちなのだなと思います。

今年の夏休みは、コロナ禍ではありましたが、夏の高校野球、花火大会、夏祭り等、内容を少し変えながらも、開催された行事が多く、いつもの夏らしさがもどってきたように感じました。テレビの画面や新聞等の活字を通してですが、夏の風物詩と言われる行事から、地域の「郷土愛」に心を動かされた場面がたくさんありました。

京都三大祭の一つであり、長い歴史を持つ「祇園祭」も、3年ぶりに本来の形で開催されました。京都で疫病が流行した平安時代、疫病退散を願ったのが祇園祭の起源とされています。奇しくも疫病の流行により始まった祭りですが、この2年間はコロナ禍のために、メインイベントの山鉦巡行をはじめ各種行事が中止になるなど、大幅に縮小しての開催でした。一番注目を浴びるのは、前祭巡行で先頭に行く長刀鉦に乗るお稚児さんです。お稚児さんとは、祇園祭を取り仕切る神様の役割を行う子供のことで、3年ぶりにその大役を得たのは、京都市立高倉小学校5年の岡本善太さんです。京都の夏を彩る祇園祭りで、お稚児さんに選ばれることはとても光栄なことで、夏前から話題になるそうです。お稚児さんに選ばれた岡本さんは、お父さんも子供の時に選ばれており親子二代での大役となりました。お父さんのコメントでは、「稚児を務めるのは今年だけのことですが、務めた子は将来にわたってそれを背負って生きていくことになります。私自身が38年経った今でも『あの時のお稚児さんか』と言われますからね。よい思い出を作ってほしいと願うと同時に、その経験をさせていただいたことに恥じない生き方をしたいですね。」と話していました。この夏はヒーローのような体験をした善太さんも、将来は、京都の歴史を守っていく一人となるのでしょう。1150年続く歴史のある祇園祭りを支えてきた町衆の心意気を感じるとともに、誇りを持って町の行事を守っていく人々の郷土を愛する熱意を感じました。



夏の甲子園、全国高校野球選手権大会は、宮城県代表の仙台育英高校が初優勝しました。東北勢が甲子園の全国大会で頂点に立つのは春の選抜大会を含めて史上初のことです。東北6県の学校が春夏合わせて13度目の決勝挑戦で悲願を果たしました。東北出身の私自身も勝利の瞬間は、鳥肌が立ち、目頭が熱くなりました。仙台育英高校の須江監督は、グラウンドでのインタビューで目に涙を浮かべ、「今年の3年生は新型コロナウイルスの感染が広がった2020年の春に入学してきました。入学どころか中学校の卒業式もちゃんとできなくて、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは違う日々を送りました。青春って密なのに『ダメだダメだ。』と言われて、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中、それでもあきらめないでやってきたことが実を結んだのだと思います。うちの学校に限らず、全国の高校生が苦しくても目標に向かって走ってきました。努力してきた全国の高校生に拍手してください。」と観客に呼びかけました。コロナ禍でも先生と生徒が寄り添いながら目標に向かってがんばってきた様子が思い浮かび、同じ教育者としての共感を覚え、心動かされた言葉でした。そして、インタビューの冒頭、開口一番に出たのは、「宮城のみなさん、東北のみなさんおめでとうございます。これは僕らの快挙だけではなく、これまでの東北のすべての選手と指導者の情熱のたまものです。最終的に僕らが越えたことはとても誇らしいですけど、東北すべての人間の勝利だと思います。」深紅の優勝旗が白河の関を越えるという東北の人たちの悲願を達成した喜びとともに、郷土を愛する心が、心強い絆や自信を持って前にすすむエネルギーにつながっていることを全国の人々に伝えていたように思います。

さて、佐倉市では、児童生徒の郷土佐倉への興味、関心を高め、郷土を愛する心を育てることで豊かな人間性を育むことに取り組んでいます。本校においても、地域の自然散策や市内巡り、歴史探検を行っています。7月には、6年生が佐倉の武家屋敷や順天堂記念館、旧堀田邸などの施設を見学し、佐倉の歴史に触れる学習を行いました。10月には、4年生以上の学年を対象に、佐倉学検定が行われる予定です。地域の方々と子供たちがふれ合う機会も状況をみながら復活させていきたいと考えています。王子台小の子供たちが、将来にわたって、郷土を大切に作る生き方をしたいと考えています。

校長



学校支援アドバイザーの来校日

15日(木) 26日(月)

スクールカウンセラーの来校日(第1. 3水曜日)

9月7日(水) 21日(水) 10月5日(水) 19日(水)

☆相談を希望される方は、教頭までご連絡ください。



～受賞おめでとうございます！～

○第71回千葉県小・中・高校席書大会

千葉日報社賞	3年	6年
書生会賞	2年	3年
	4年	
	5年	
特選	1年	2年
	3年	
	4年	
	6年	



【9月の予定】

- 1日(木) 全校集会 短縮日課③11:30 下校
- 2日(金) 短縮日課③11:30 下校
- 5日(月) 給食開始 委員会活動
脊柱側弯症二次検査
- 6日(火) 1年身体計測
避難訓練(不審者対応)
- 7日(水) 3年身体計測
- 8日(木) 4年身体計測
- 9日(金) 5年身体計測
- 12日(月) クラブ活動 6年身体計測
※給食費引き落とし日
- 13日(火) 2年身体計測
- 14日(水) 短縮日課④ 13:05 下校
資源回収日・ベルマーク収集日
- 15日(木) 短縮日課④ 13:05 下校
PTA 運営委員会
- 16日(金) 短縮日課④ 13:05 下校
- 19日(月) 敬老の日
- 23日(金) 秋分の日
- 28日(水) 6年校外学習
(国立歴史民俗博物館 AM)



【10月のおおまかな予定】

- 3日(月) 委員会活動
- 7日(金) 前期終業式
- 11日(火) 後期始業式
※給食費・教材費引き落とし日
- 12日(水) 校内授業研究会(算数) 特別日課
資源回収日・ベルマーク収集日
- 14日(金) 1.2年校外学習(葛西臨海水族園)
- 15日(土) 環境美化活動(予備日22日(土))
- 17日(月) 野外観察(3年)
- 19日(水) 教育長学校訪問
- 20日(木) 野外観察(4年)
- 21日(金) 5年自然教室
(小見川青少年自然の家)
- 22日(土) 環境美化活動予備日
- 24日(月) クラブ活動
- 26日(水) 野外観察予備日
- 27日(木) 佐倉市文化祭小中体育大会
1年生昔遊び
- 28日(金) 野外観察予備日 リレー大会予備日
- 31日(月) 委員会



※コロナウイルス感染症の状況によっては、中止や延期、実施方法が変更となる場合があります。

～新型コロナウイルス感染症予防について～

日頃より、新型コロナウイルス感染予防につきまして、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。
引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策として、健康観察カードへの記入・提出のご協力をお願いいたします。その際、お子様や同居するご家族に症状がある場合は、登校を控えてください。朝の健康観察を十分行っていただきますようお願いいたします。学校におきましても、3密(密集・密接・密閉)の回避、マスクの適切な着用、手洗いや換気等の基本的な感染症対策を徹底してまいります。また、体調不良になった場合、家庭に連絡をいたします。兄弟関係者がいる場合、症状がなくても一緒に帰宅していただくことになります。速やかに引き渡しができますよう、ご協力をお願いいたします。

また、マスクにつきましては、不織布マスクが最も高い効果があるとされていますが、
お子様の個々の身体状況等を考えて各家庭でご判断ください。



※濃厚接触者の待機期間が、陽性者との最終接触等から5日間(6日目解除)に変更になりました。
待機期間中に陽性者と接触等があった場合、そこから新たに5日間の待機になります。